



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第17号 (H23.9.16)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



福祉教育

福祉教育始まる！

福祉の課題は、高齢社会が進展する中で、今日ならびに未来社会の重要な問題であるだけに、積極的かつ計画的に取り組まなければならない学習テーマです。福祉活動は、具体的な実践活動を中心にしながら、思いやりの心、感動する心などの豊かな人間性や自分なりの生き方を主体的に考える態度を育てることにやり総合的な学習の時間として構成することに意義があります。福祉にかかわる内容は知識・理解・技能を養う学習として取り上げるとともに、実践的、体験的でなければならないと考えます。福祉活動によって、さまざまな人にふれ、共に生きることを深く考えさせ、行動力につなげることが出来ます。附属中1・2年生は、生涯にわたってかかわる福祉の問題に対する動機づけの段階であり、身の周りの人とかかわることに関心をもつことに重点を置いて取り組みます。そこで、さまざまな障がいを経験したり、自分たちの身近にいる方々との交流を図ることで、社会の一員であることを自覚し、実際の活動を通じて自己実現を図っていくことをねらいとしています。



- 福祉講演会(1・2年生)
 - アイマスク体験
 - 車イス体験
- 1年生40名全員が体験しました。

キャリア探究「福祉体験・交流活動」の今後の計画です！

課題設定	<p>「身近な福祉体験をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉に関する講演会 ……9月8日 ○福祉体験活動・アイマスク体験講座・点字講座・手話講座 ……9月8日～9月22日 ○福祉施設訪問 ……10月14日 ・都城市内の特別養護老人ホームでふれあい体験する
探究	<p>「新たな思いを生かした福祉体験をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験を振り返り、一人一人が問題をもつ ○同じ問題をもつ生徒同士でグループをつくり、計画を立てる ○グループごとに活動する(自主的な時間)・老人ホーム、保育園など ……11月～ ※ネットワーク授業を行う。(生徒と大人が共に授業に参加する)
まとめ	<p>「活動を振り返り、これからの福祉活動を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験して感じたこと、考えたこと、学んだことをまとめる ○福祉にかかわってこれからどのように行動したら良いか考える <p>※研究の中間発表を論文(レポート)にまとめ、ポスター形式の発表を行う。…1月</p>

附属中生 都泉祭の感想です！

- 僕は、特に心に残ったのは、陶器で作った絵が優秀賞をいただいたことです。(1年男子)
- 合唱では、私は責任者でした。練習していく度にみんなの声が1つになっていくのを聞くと、一人ひとりの力ってすごいなあと思いました。MJホールで歌えたときには、すごく嬉しかったです。でも、やっぱり高校生はとても上手でした。来年はもっと上手に歌えるようになったらいいなあと思います。(1年女子)
- 予選は通るかな、大丈夫かなととても不安でした。でも無事合格したときは、嬉しくて思わず飛び上がってしまいました。(1年女子)
- 合唱に関しては、自分なりに最高の歌を歌えたと思っていましたが、中学2年生は高校生顔負けで合唱していたのすごいなあと思いました。来年は私達も2年生に少しでも近づけるようにしたい。(1年女子)
- 来年は笑顔で歌えるようにしたいです。(1年女子)
- 夏休みの準備の時間に使って、3ヶ月間程度かけてがんばりました。初めはたった1日のためにそこまですなくてもいいだろうと思ったけれど、時間をかけてがんばった分、完成した時はとても嬉しかったです。
- 文化祭は、初めてだったのでとても楽しみでした。高校生の作品はとても楽しいし、おもしろかったです。特に2年7組の映像が良かったので私もやってみたいと思いました。こんな楽しいことがあと5回あるなんて幸せだなあと思います。(1年女子)
- 今年の都泉祭で、皆と心が一つになったと思ったことがあったので、とても嬉しかったです。(1年女子)
- 私が最も記憶に残ったのは大縄でした。青团は練習の時、いつも5回跳べず最下位でした。だから毎日昼休みに練習しました。時には高校の先輩に見てもらいアドバイスをもらいました。本番、タイフーンでは3つの団ともあまり差はありませんでした。そして、1位は大縄にたくされました。「引っかからないように、高くジャンプして……」跳んでいるときはこのことしか考えていませんでした。結局、青团は3位でした。しかし、不思議と悔しい気持ちは全くありませんでした。心の中は、みんなで力を合わせて1つのことをやり遂げたという達成感であふれていました。(1年女子)
- 私が一番心がふるえたのは、団対抗リレーです。団のみんなに「がんばれ！」と声をかけていただいたり、全然話したことがない人にも声をかけてもらえたので、すごくがんばれました。都泉祭に関わってくださったみなさんに感謝したいです。(1年女子)
- 今年の都泉祭で私が感じたことは「団結力」です。例えば、合唱の練習の時、みんなで意見を言ったり、お互いにアドバイスをしたりと去年には見られなかったような光景がありました。また、…白団のみんなで話し合って走順を決めたり、当日に円陣を組んだり、声を出して応援したり、みんなが1つになれたような気がしました。団対抗リレーの時、私が走り終わった後、三島団長が「ナイスラン！」と言って握手をしてくれました。また、3年女子の綱引きで青团に勝った時、リーダーの先輩がハイタッチをしてくれました。私は、そういう風に接してもらえてすごく嬉しかったし、私もこんな先輩になりたいと思いました。白団は優勝はできなかったけれど、チームの団結力は強いと思いました。(2年女子)
- 指揮というみんなのリーダーになったことで、みんなをまとめることが大変だということを改めて思いました。一人ひとりが考えていることが違って、やりたいことも違うから、どうやったら注目してくれるのか、話を聞いてくれるのか、色々考えました。また、リーダーは感情に流されてはいけないということも分かりました。相手が話を聞いてくれないのなら、どうやったら話を聞いてくれるのかを考えて、すぐに怒ってはだめだと思いました。怒ることは、みんなのモチベーションを下げて、嫌な感じになるので最終手段だなあと思いました。根気よくみんなに話していくことで、最終的には「ちゃんと聞こうよ」などの声が出てきたのは、すごく嬉しかったです。(2年男子)
- …当日足を痛めて何もしなくても辛い状態だった。しかし、自ら志願したし、やるからには本気で走らないといけないと思った。…走ってみると歩いているときよりも楽だった。一位でゴールできたのが嬉しかった。周りの友だちも自分のことのように笑顔で、ハイタッチなどをしたのはもっと嬉しかった。昨年もアンカーをして2連続で一位だった。来年は三年連続になりたい。そして、団体校リレーにも出てみたい。今年の大会は今までで一番成長できたと思う。(2年男子)
- クラス製作は、長崎で学んだことを多くの人に知ってもらえたと思います。去年の反省から、たくさんの人に見てもらえるように廊下や階段にポスターを貼ったり、校内を歩き回って宣伝したりしました。その結果とても多くの人に来ていました。…来年は、中学校も3学年揃うので、これまでの経験を生かして先輩にも驚いてもらえるように頑張りたいです。(2年女子)
- 本当に楽しい3日間でした。(2年女子)